

# 5. 市民が取り組むまちづくり

## ～市民懇談会から福知山市の未来への21の提案～

無作為に選ばれた約100人の市民が、楽しく、真剣に話し合いを重ねて福知山市の課題、未来について市民から市民に向けた提案をまとめました。

- 1 生活実感を入り口に、地域のことを「自分ごと」として、考えるきっかけとなる対話の場をつくらう
- 2 学校だけではない学びの場をつくり、「生きる力」と「困難に対するしなやかさ」を育もう
- 3 「子育ての話」を気軽にでき、先入観や「あるべき論」にとらわれず、一人ひとりの個性を生かした子育てができる環境をつくらう
- 4 障害のある人や様々な悩みを抱え孤立しがちな子どもや家族に市民どうしが互いに関心を持ち、手を差し伸べ、誰も孤立させない環境をつくらう
- 5 学び続けたい大人たちが、互いに学び合い、教え合う環境をつくり、地域の課題を自ら解決できるコミュニティをつくらう
- 6 動画やデジタルを活用した「ICT教育」を推進し、一人ひとりの状況にあわせてきめ細やかな学びを実現させると同時に、生きる力を集団で学ぶ、成熟した学びをつくっていきこう
- 7 福知山市の自然やコミュニティの中でしか体験できない思い出をたくさん作ることで、「心の豊かさ」を育むとともに、世界に向けて「発信したくなる気持ち」を育てよう
- 8 子育てを地域全体でサポートすることで働く人が住みやすいまちをつくらう
- 9 多様な働き方、働く目的にこたえる“しごと”と“人”をつなぐ仕組みをつくらう
- 10 福知山市に住みたい希望をかなえられる働く場の確保を大学や企業とも連携しながら、実現していきこう
- 11 意欲ある起業家や地域を支える経営者の挑戦と創意工夫を、まちぐるみでサポート、育成していきこう
- 12 福知山市の魅力、強みを生かして、儲かる観光業、農林畜産業をめざして盛り上げよう
- 13 福知山市の歴史、自然、文化などの魅力を日本中、そして世界にむけてアピールしていきこう
- 14 担い手が少なくなってきた時代に対応し、自治会などの活動を見直し、開かれた運営を行っていきこう
- 15 「やらなければならない」地域活動から、「やりたい人がやりたいことをやる」地域活動へ変えていきこう
- 16 自動車がなくても、買い物や通院に支障なく生活ができる工夫、仕組みを作ろう
- 17 身近な場所に拠点をつくり、様々なサービスを「行く」から「来る」に転換しよう
- 18 医療や介護をできる限り必要とせず、健康で生き生きと長生きする「健康長寿」をめざそう
- 19 一人ひとりが楽しみながら、様々な場で力を発揮することができる環境をつくらう
- 20 一人ひとりに寄り添ったきめ細やかな相談、支援をできる体制を、地域包括支援センターを中心につくらう
- 21 独居高齢者、老々介護、介護離職など、様々な介護の事情や社会生活環境の変化をふまえ、担い手の多様化と地域での支え合いの仕組みをつくらう